

積善

題字 第241世天台座主 玄深師(惠亮院蔵)

餘慶寺だより

編集・発行 上寺山餘慶寺
〒701-4232 岡山県瀬戸内市邑久町北島 1187
納経所 TEL 086-942-0186 FAX 086-942-0187
惠亮院 TEL/FAX 086-942-3788
本乗院 TEL 086-942-2791 FAX 086-239-5823
吉祥院 TEL/FAX 086-942-3789
定光院 TEL 086-942-2356 FAX 086-944-1490
明王院 TEL 086-943-1030 FAX 086-943-1069
圓乗院 TEL 086-942-2356
ホームページアドレス <https://yokeiji.or.jp/>

比叡山
からの
お言葉

「一々(いちいち)の勞(ろう)を惜(しやく)まず」
一々の勞を惜しまず

一々の勞を惜まず

令和二年庚子三歳
天台宗總本山比叡山
延暦寺執行先實書

比叡山延暦寺執行 小堀光實 師 御筆

伝教大師最澄さまのお言葉に「己を忘れて他を利するは慈悲の極みなり」とのみ教えがあります。
自らの勞を惜しまないで人々への思いやりや勞りの行いに努めることこそ、安らぎと癒し、救いへの優れた力となり尊いのだ、ということです。
事態のひとつひとつに勞りの心を惜しまず、又、支援の勞を惜しまずに共に力を合わせ過したいものです。
令和二年 庚子歳 元旦 比叡山延暦寺

餘慶寺からのお知らせ

薬師縁日(於 薬師堂)

毎月8日 午前10時～
護摩祈禱をしています。ご祈禱のお申し込みは随時納経所へお願いします。

観音縁日(於 本堂)

毎月18日 午前8時～
みんなで観音經をあげます。お経本は本堂にありますので、お気軽にお参りください。

餘慶寺HPアドレス

QRコード



<https://yokeiji.or.jp/>

第二十回 上寺山両詣り ライトアップの報告

昨年大晦日から一月三日にかけて餘慶寺と豊原北島神社で「両詣り」と名付けて様々な行事が行われました。二〇〇〇年から始まったライトアップも今年で二十回を迎えた皆さんの参詣者の方が来られ大盛況でした。
今年は通年の催し物に加え学芸館高校の美術部様にお願ひして干支のネズミの絵が描かれた大きな顔出し絵馬を設置し参詣に来られた方々の記念撮影スポットにもなりました。



夜から深夜にかけての行事になりますので寒さとの闘いになりましたが参詣に来られた皆様「いつも年末は上寺山なんです！」等温かいお言葉をいただき山内僧侶、寺庭婦人の皆さん笑顔で温かく出仕することができました。
次回で二十一回になります、まだまだみなさんにとって良い年越しの場になれるように尽力してまいります。
最後になりますが、両詣りを開催するにあたりご尽力いただきました全体的に心よりお礼申し上げます。今後ともご協力いただきますようどうぞよろしくお願い申し上げます。



よけいじ寺子屋だより

会場 餘慶寺会館(十四時)

寺子屋写真館



今後の予定

☆「住職講話」 二月二十四日(月・振替休日) 講師 常楽寺副住職 長谷川裕展 師

☆「瀬戸内市の観光について」 三月八日(日) 講師 瀬戸内市商工観光課 関洋平 氏

☆「仏塔の話」 三月二十二日(日) 講師 明王院住職 岡本 昌幸 師

☆「戒律を守ろう」 四月四日(土) 講師 定光院副住職 西野 祐聖 師

☆「四月文化講座」 未定 講師 未定

☆「念彼観音力のメッセージ」 五月九日(土) 講師 惠亮院住職 土井内祐真 師

※ごなたでも聴講可能です。(無料)
お誘い合わせのうえ、ご参加ください。



編集後記

皆さまあけましておめでとうございます。二月になりましたが新年初めの積善になります。ここ数年の冬はいいことでもあるのですが雪がたくさん降らず昔、比叡山にいたときの雪景色を思い出します、まだまだ寒い日が続きますので体調に十分お気をつけください。



毎月第二日曜日午後二時より阿弥陀堂にて納骨堂説明会を行っています。

薬師護摩祈禱 護摩木三百円 木札授与三千円/五千円

期間限定の「さくらカフェ」はお菓子とお飲み物のセットで四百円です。

桜まつりのご案内

四月一日(水)より八日(水)にかけて「桜まつり」を餘慶寺境内において開催いたします。

期間中、薬師堂では秘仏薬師如来(国指定重要文化財)、聖観世音菩薩(国指定重要文化財)、十一面観世音菩薩(国指定重要文化財)などの特別公開や護摩祈禱、本堂では花御堂の釈迦誕生仏へ甘茶を漉いでいただけるようご用意しています。また、境内では例年好評をいただいております寺庭婦人による「さくらカフェ」(各四百円)を行います。

特に四月八日(水)はお釈迦さまのお誕生日です。餘慶寺では毎年、この日の八時より降誕会の法要をし、甘茶の無料おせつたいをしております。春の上寺山へ、是非ともお参りください。



春の餘慶寺 お彼岸法要

三月二十日(金・祝日)の十時より春のお彼岸法要が餘慶寺本堂において行われます。

お彼岸法要で供養を希望される方は別紙「お彼岸法要のご案内」をご覧ください。上寺山各院または餘慶寺会館納経所へ三月十三日(金)までにお申込みください。



弁天池玉垣 名入れ奉納のおすすめ

今春より弁天池の改修工事が始まります。工事に伴い弁天池を囲う垣として玉垣(石材)を新設します。ご寄進いただいた方のご芳名を彫り刻ませていただき、永く後世に伝えさせていただく所存でございます。詳しくは別途用紙をご覧ください。

ひとくち法話

「涅槃会」

二月十五日は、お釈迦さまがお隠れになられた「涅槃会」です。

お釈迦さまは紀元前三八三年に八十歳でなくなられました。

お釈迦さまは旅の途中で病が進み、お休みになりたいと申され、お弟子が布を敷き、北を枕にして右脇を下にして横になられました。

しばらくして、お釈迦さまは静かに涅槃に旅立たれました。

お釈迦さまの周りには、お弟子や村人たち、尊者、動物、昆虫、野鳥など多くの生き物が悲しみ泣いています。

悟りをひらかれたお釈迦さまでさえ、「生老病死」から逃れる事は出来ませんでした。が、「生老病死」からくる苦しみから解脱することは仏教の教えによって達成、成就されました。

上寺山餘慶寺では、毎年遅れの三月十五日の十六時から涅槃会を掛けて涅槃会を厳修しています。

是非、お参りになりお釈迦さまのご冥福をお祈りし併せて、我々の苦しみからの解脱を成就出来るように祈願されては、いかがでしょうか。



餘慶寺境内紹介

「愛宕さんにお詣りしよう」

三重塔北に鳥居のある社があります。向かって左側が愛宕大権現がお祀りしてある愛宕社です。京都市内で最高峰の霊山である愛宕山を総本宮とします。(右側は山王社です)

社の中には、大陸風の甲冑をつけ、右手には錫杖、左手に宝珠を持ち、白馬に乗った勝軍地藏(愛宕権現の本地仏)がお祀りしてあります。

愛宕権現は、平安の昔から火防の神様として人々から崇拜されてきましたが、室町時代頃からは、足利尊氏が強く信仰していたことよって武士の間で進行が広まり、戦勝の神として尊拝されていました。

餘慶寺では、昭和十六、七年頃まで七月二十三日の夕方には夏の夜のお祭りとして境内には夜市が出て近隣の善男善女が次々とお詣りしていました。

現在では、七月二十三日に愛宕祭を厳修しています。どうぞ皆さんでお詣りください。



春を見つげに上寺へお参りしましょう。